

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		介護支援専門員の育成支援				所管	福祉部 高齢福祉課		
事務事業の概要	行政計画	あり	事業NO.	158	計画事業名	介護支援専門員の育成支援			
	長期総合計画体系	[基本目標]					事業の開始・終了年度		
		[小 柱]					[事業開始] 平成13年度		
		[施 策]					[終了予定] - 年度		
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	台東区ケアプラン指導研修実施要綱					
	事業対象	居宅介護支援事業所の介護支援専門員							
	事業目的	居宅介護支援事業所の介護支援専門員のスキルアップ、ケアマネジメント力の向上を図るために事例検討会や研修会を実施する。							
	事業内容	居宅介護支援事業所の介護支援専門員に、ケアプランの作成技術等の研修や指導を行い、ケアマネジメント力の向上に努めるとともに、関係者の情報交換を図る。 (ケアプラン作成事例検討会、研修会等)							
委託の有無	なし	委託内容							
補助金の有無	国・都								
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度		
	活動指標	事例検討会	(回)	7	5	5	7		
		研修会	(回)	8	2	3	8		
	成果指標	研修等参加者数	(人)	500	149	172	448		
	決算額 (単位：千円)				86	156	274		
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)			1,530	2,499	2,727		
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			18	27	58		
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			69	129	216		
		総経費			1,617	2,655	3,001		
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			0	0	0		
その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			69	123	220				
一般財源 (区負担額)			1,548	2,532	2,781				
前年度から改善した事項	前年度、研修内容等について検討を行い、介護支援専門員の研修を体系化し充実を図った結果、研修回数を増やし、課題となっていたテーマ(ケアマネジメントの充実や医療知識・連携の強化等)の研修を重点的に実施した。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	4	区内のどの居宅介護支援事業所を利用しても利用者の希望や状況にあったより良いサービスを提供するには、介護支援専門員の資質に差が生じないよう、区が主体となって課題に応じて研修を実施する必要がある。						
	効率性	3	多くの介護支援専門員が参加できるよう、開催時間や場所の調整して実施した。また、特に課題となっていた面接技術・ケアプラン作成能力・医療知識や連携の不足についてテーマを設定し専門の外部講師を呼ぶことで、参加者の関心を集めることができた。						
	手段の適切性	3	外部講師のほか、地域包括支援センターの主任介護支援専門員や介護保険課と連携し、民間の主任介護支援専門員を積極的に講師として活用した研修を検討していく。また、引き続き関係する全事業所に研修の実施を案内することで積極的な参加を図る。						
目的達成度	4	研修参加者からは、特に医療知識研修について普段聞くことのできない話が聞けて今後の仕事に役立つとの意見が多かった。しかし、依然として参加しない・できない介護支援専門員(居宅介護支援事業所)もいるため、参加できるよう周知徹底、対策をとりたい。							
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性		
居宅介護支援事業所の介護支援専門員に対し、地域包括支援センターの主任介護支援専門員と連携し、研修や個別支援を行い個々の資質向上を進める。また、介護保険法改正において、地域ケア会議の重要な役割となるため、育成支援の取組を強化していく必要がある							維持	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	